

□見ようとしないと見えないもの□

我が家の前にキンケイギクが道に沿って数十メートル咲き並んでいます。先日、当センターの所長に岡山市で咲き誇っている、オオキンケイギクの写真を見せていただく前までは、我が家の目の前にキンケイギクが咲いているのに気が付いていませんでしたが、意識が変わると見えなかったものが見えて来たのでした。



キンケイ菊

キンケイギク?! オオキンケイギク?!

この花には2種類あって、キンケイ菊(キンケイギク)は一年草で、1シーズンしか生息しませんが、大金ケイ菊(オオキンケイギク)は多年草で、複数シーズン生息するということです。



大金ケイ菊

キンケイギクを初めて見たのは、45年ほど前の広島県三原市でした。当時三原駅から職場までバイク通勤をしていた川沿いの道に、何キロも列をなして咲いていました。爽やかな気分でバイクを走らせていたら、翌年から花粉症になってしまいました(笑)

ちなみにオオキンケイギクは特定外来生物(特定外来種)で、飼養・栽培・保管・譲渡・運搬など違反した場合は、3年以下の懲役もしくは、300万円以下の罰金が科せられるそうですので、お気をつけください! 緊急逮捕の可能性もあるそうですよ!

さて、表題の「見ようとしないと見えないもの」は、「^{ひと}他者の心」だと思います。

退職後8年間続けて来た部活の指導を、昨年7月に辞めていたのですが、訳あって9月から復帰しました。しばらく一緒に練習してみると、2ヶ月間のギャップで生徒たちが何を考えているのか分かりません。普段の学校生活で接点のない自分が、生徒たちに受け入れられているのかとても不安になりました。

そこで不安を解消するために、一人一人とノートの交換を始めました。

そして見えて来たのはA生徒たちから否定的に捉えられていないこと(生徒の優しい心遣いかも知れませんが・・・)、B生徒たちの表現力が乏しいことでした。

Aについてはひとまず安心ですが、Bについてはかなり深刻な問題だと思いました。

私が書いた言葉を読み取り、それに対して自分の思いを語れる生徒が数人しかいません。

考えてみると若い人から来るメールは「りょ!」「ま?」「ぴえん」などが多く、私が長々と文字を書き込むと迷惑な感じが漂って来ます。表現を簡素化して相手とやり取りすることで語彙力が減り、意思の疎通を図れなくなっているのではないのでしょうか。その結果、騙されて高校生達が特殊詐欺に引き込まれることも多いそうです。

部員との浅いやり取りの中でもノートを交換することで、別室登校の部員が部活をやめるのを踏みとどまったこと、母親と毎日喧嘩ばかりしている部員の本音が聞けたこと、3年生の最終予選に向けての意気込みが伝わって来たことなど、ノートをすることで見えなかったものが見えて来たことは、見ようとしたからだと思います。

★背景は見ようすれば見える?! 昨年度のパレー部送別会の一コマです。☺ ↑

運営委員会総会 & 育成指導員連絡協議会総会・研修会

5月14日（水）に運営委員会総会、5月21日（水）に育成指導員連絡協議会総会を開催いたしましたところ、ご多忙にも関わらず、多くの関係者の皆様にご参加いただき、滞りなく会を終えることが出来ました。大変お世話になりました。



本年5月に就任された、文谷元信
教育長による開会あいさつ



左下の写真が実際に掲示にご協力いただいているお店玄関の写真です。これを含め鴨方地区で20店舗、金光地区で6店舗ご協力をいただいています。

育成指導員連絡協議会総会では、会に先立って青少年育成指導員として、また連絡協議会会長として長年御尽力いただいた、山下秀光さんが本年1月にご逝去されましたので、ご冥福を祈り全員で黙とうを捧げました。感謝の意を表する共に、心から悔やみを申し上げます。

総会は委任状を含め19名の方全員のご参加をいただき、円滑に総会を終えることができました。育成指導員の方にはご協力ありがとうございました。

総会後には研修会として玉島警察署生活安全課の諏訪博之課長に「少年非行の実態」と題してご講演をいただきました。



“おもうわよ”

先日、NHKスペシャルで東京都青ヶ島村（面積8.57km²、人口162人）の特集をしていました。

番組は1785年の天明噴火で村を追われ、八丈島に逃れた住民が島に戻りたい一心で、佐々木次郎太夫を中心として環住を取り組み、嵐と島の地形で帰島困難な島に帰着くまでの道のりを辿ったものでした。その苦難な物語にも心を打たれましたが、番組の終盤で出て来た「おもうわよ」の言葉に心が引き込まれました。これは「さようなら」を意味する言葉で青ヶ島では一般的だそうです。別れ際に「お別れしてもあなたのことを思うわよ！」という愛情が感じられる言葉でした。

そういえば子どもの頃、出かける時に母親が「行ってらっしゃい」でなく「行ってお帰り」と言ってくれたのを思い出しました。「無事に帰って来て！」が込められていたのですね。

